

令和4年度 あげお学びのイノベーション News

上尾市は、文部科学省が示したGIGAスクール構想により、今までの教育実践×最先端のICTで「新たな学び」を創り出す「あげお学びのイノベーション」に取り組んでいます！

「自分に合ったペースで学習することで・・・」～ICTを活用した「学習活動の充実」を目指して～

現在、各学校では、GIGAスクール構想によってICT環境が整備された中で、児童生徒がこれからの時代に求められる情報活用能力を身に付けることができるよう、ICT端末を効果的に活用し、学習活動の充実を目指した研究を行っております。

今号では、本市で実施した令和4年度第2回「ICT端末を活用した授業」研究会の様子をもとに、第3号で紹介したICTを活用した主な学習場面のうち、「児童生徒一人一人の学習の状況に応じた個別の学び」を中心にご紹介します。

第2回「ICT端末を活用した授業」研究会における活用例

令和4年7月5日（火）上尾市立今泉小学校 第3学年 算数科の授業より



<活用例①>

★ICT端末のアプリケーション等を活用し、児童生徒の理解の状況に応じて課題に取り組む学習を行います。



<期待される効果>

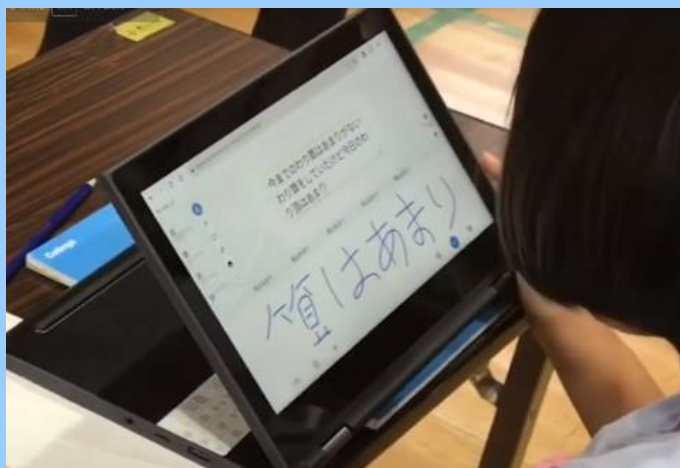
★自分に合ったペースで学習することにより、主体的に学習に取り組む態度を育むとともに、基礎的・基本的な知識及び技能を定着させることができます。

<活用例②>

★「タイピング」だけでなく、「手書き入力機能」等を活用するなど、児童が自己のスキルに合わせ、まとめ方を選択しています。

<期待される効果>

★「タイピングスキル」に囚われることなく、児童が「最も分かりやすく自己の考えを表現することができる」方法を自由に選択できる環境があることで、まとめたり、意見を伝えたりする活動に意欲的に取り組めるようになります。



「児童生徒一人一人の学習の状況に応じた個別の学び」は他にもあります！

【例1】音楽の授業で、ICT端末の録音や録画のアプリケーションを使い、自分の演奏を記録して振り返りを行い、よりよい音楽表現の方法を考えます。

【例2】算数・数学の授業の後半に、オンラインドリルの計算問題に取り組み、苦手な問題を繰り返し解いたり、より難しい問題に挑戦したりして、学習内容の定着を図ります。

